

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0176400018		
法人名	(株)萌福祉サービス		
事業所名	グループホーム萌		
所在地	留萌市開運町1丁目2番10号		
自己評価作成日	平成23年11月20日	評価結果市町村受理日	平成23年12月26日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0176400018&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成23年12月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

介護理念、「私たちのモットー」「私たちの宣言」に基づき利用者様お一人おひとりの『ありのまま』を受け入れ、安心して居心地のよい生活の場を提供できますようにマニュアルの更新、落とし込みにより、基本や思いを大切にお一人おひとりに合わせた統一した介護を提供できるように取り組んでいます。人と人の関わりには「笑顔」が大切と気持ちの良い笑顔で利用者様、御家族、地域の皆様に働きかけています。サークル活動、行事、レクリエーション、日課の中で、役割や楽しみを持ちその人らしく生きる、必要とされていると自信を持つ、願いや希望を引き出し実現できる、愛されていると感じられる、喜びの実現の為に御家族や地域の方と連携し取り組んでいます。季節の彩りのある美味しい食事が提供できるよう、嗜好・体調に合わせて調理しており、残食は殆どありません。主治医から採血データ良好にて努力のたまものと評価されています。衛生管理、環境管理に努力し感染予防を続けています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<利用者の心の声に耳を貸す取り組み>
 本人がうまく意思表示できない困っていること、不安なこと、要望等心の声に耳を傾けながらレクリエーション等の準備の役割や「食べよう会」などのサークル活動等を通じて、本人の意向や安心を確保し、職員と一緒に暮らして暮らしを共にする関係づくりに取り組んでいる。また、共同生活が難しい利用者にも時間をかけながら支援し、本人と家族の意向・要望を大切にしている。

<職員を養成する取り組み>
 笑顔で働ける職場の環境づくりに考慮して、法人全体で「人づくりに重きをおく」ことを重点に各種マニュアルを整備し、新人の初期研修や年間計画で内部研修を実施している。また、外部研修参加や資格取得を奨励していると共にプリセプター、プリセプティブのもとで人材を育成する目標を明確にしている。

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)		項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します	
項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが広がり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごしている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
理念に基づく運営						
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	経営理念・介護理念・「私たちのモットー」「私たちの宣言」があり毎月目標が達成できているか話し合い評価しています。施設全体運営会議の書類に内容を記載し更新しています。	事業所独自の理念を達成する為に、具体的な年間目標及び月間目標を作り上げ、その達成度を評価・検討している。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の会長・副会長と火災・災害時の話し合いやGH推進会議のご案内。町内会婦人部のご参加がありました。夏場はウッドデッキ越に会話があります。	町内との合同盆踊り大会やどんと祭りでの協力等地域とのつながりを大切にしている。また、札幌医大の研修生や中学生の体験学習、実習生の受け入れ等ホームの持つ機能を地域に還元している。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	GH各事業所の(萌からのお手紙)の認知症コラムを佐藤が3年以上担当して掲載しています。地域つくしの会の介護教室に講師として参加しました。入居者様の友人に移動・移乗方法を指導しました。			
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	GH推進会議の議題1は食事評価、時期に応じた議題で取り組みにご助言頂き取り組みの向上に役立っています。	運営推進会議は、定期的開催され、食事の評価や地域との連携など具体的内容について話し合い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	留萌市の介護支援課、社会福祉課、留萌支庁の社会福祉課と連絡、ご指導を頂いています。	市担当者や留萌支庁とは、日常業務を通じて情報交換を行い、協力関係を築くように取り組んでいる。		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしていません。マニュアルの落としこみをしました。玄関の施錠は夜就寝前から朝までです。	高齢者虐待防止や身体拘束廃止について管理者及び職員は共通認識が持てるように内部研修を行い、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止勉強会をしました。マニュアルの落としこみをしました。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	留萌裁判所より、成年後見制度のDVDを借用しわかりやすく勉強会をしました。また日常生活自立支援について正しく理解出来るよう講義を受けました。			
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約は、運営規定・重要事項説明書・利用契約書・同意書を用い丁寧に説明し確認しながら納得頂いています。			
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	クレームはただちに対応しデジエ入力改善確認されています。「介護サービス及び事業所のありかたに関する満足度調査」アンケートを行い分析評価改善に繋がっています。	事業所独自のアンケートを実施し、意見や苦情等を言い表せる機会を設けている。また、そこでの意見や苦情等を話し合い、運営に反映できるように取り組んでいる。		
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	GHミーティング・運営向上委員会・接遇向上委員会・介護課会議・相談課会議・上長者ミーティング・プリセプター・プリセプター会議など意見を集約し反映できるようにしています。	毎月のミーティングや運営向上委員会、接遇向上委員会等を通じて職員の意見や要望、提案を聞くよう機会を設けている。また、人材育成をテーマに掲げ、働きやすい環境づくりに取り組んでいる。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業規約があります。研修参加状況の把握資格修得の把握、研修評価、笑顔評価、勤務状況、面談、稟議書、企画書を通し上長者から報告を受け対応しています。			
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	会社内部門毎の委員会、でマニュアルの更新をしマニュアルの落としこみ、社内研修や必要な研修指示、紹介、スキルアップ勉強会(介護福祉士・ケアマネジャー)研修センターでの実技指導・評価、腰痛防止・個人指導など行っています。			
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	社内さわやか親睦会行事参加。留萌市健康の駅主催の研修参加・食事タイム。保健所主催研修・グループワークなどで交流学習の機会があります。留萌ケアマネの会の親睦会があります。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時ニーズに合わせケアプラン作成し自分らしくありのままを受け入れる姿勢で働きかけています。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面談・情報収集し、お世話させて頂く姿勢で要望を誠実に伺います。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	在宅介護困難の理由を見極め、何が必要なか確認しご家族・社会との繋がりを保てるように努めています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に生活する者同士、「居心地の良い生活の場」と安心して「思い」を引き出せるよう支援しています。		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と連絡を密にし連携をとり家族の中の父・母であり愛情豊かに絆を保てるよう状況報告、受診報告、面会時は生活の様子報告サークル活動の様子を話します。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人の面会、僧侶のお参り、主治医の往診教会集会参加、ご家族とのショッピングなど支援。クラス会参加の為、仲間が介護法を練習に来られ夢が叶った方がいます。	家族との馴染みの店での買い物支援や盆踊りやどんと祭り等の地域行事参加を通じて馴染みの人や場所の関係が途切れないよう、支援に努めている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	なじみの人間関係、自信を取り戻し輝く笑顔への働きかけ。人と人との関わり合いを楽しめるよう働きかけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	GH入居困難になられた場合(医療行為など)は相談を受け説明し、ご希望される病院や施設への橋渡しをしています。			
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの「ありのまま」を受け入れご希望が叶うように、ご家族と相談しながら対応しています。	アセスメントを実施し、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、本人本位に取り組んでいる。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居面接前担当ケアマネから情報提供や入居前後ご家族から伺う。同意があれば「わかること・わからないこと」シート記載をお願いしています。			
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1日2回のケアプラン評価を続けています。日々の1行記録を毎月ご家族に送付しています。毎日の引継ぎ、5分間ミーティングなどで情報の共有に努めています。			
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプラン作成時本人、ご家族に同意を得ています。またミーティング時解決アイデアシートを使い具体策を明確にし統一した介護を提供できるようにしています。	課題とケアのあり方について、解決アイデアシートを利用して本人、家族の意見や思いを反映するようにしている。また、カンファレンス、モニタリングを通じて介護計画に職員の意見を反映している。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の引継ぎ時5分間ミーティングでポイントを明確にする取り組みをしています。			
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院受診時の送迎や受診介助。ご家族の宿泊。病院入院・退院介助・必要品準備。自室での法要。買い物などお手伝いしています。			
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	宗教教会への定期参加(昔奏でていた胡弓を弾けるようになりました)クラス会に参加(同席者介護法指導)高齢友人面会(その方のご家族と連携)など。			
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診日の把握をし情報を共有し連絡報告しています。ご家族、主治医と連携しお話を伺いに行く時もあります。協力医は特変時いつでも対応して下さり医療連携必要時でも対応して下さいます。	常勤の看護師と職員の体調管理で、医師と連携しながら適切な医療を受けられるように支援している。また、本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	管理者が看護師なので24時間連携がとれます。不在時は上長者から看護資格所持者に確認できますが協力医に電話で報告し適切な指示を頂けます。			
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時の経過報告、日頃の様子、ADL、お薬、入院手続き、必要品の準備をしています。ご家族の依頼により医師からお話を伺います。面会時、看護師より情報を得て相談もあります。退院時サマリー、引継ぎ送迎をしています。電話連絡連携もあります。			
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者さまの加齢や病状により重度化はあります。ご家族と話し合い、事業所のできるチャレンジを続けますが医療行為が必要な場合を説明しながら病院、施設、関係機関と連携しています。	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ができることを十分に説明しながら方針を職員間で共有している。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	火災・災害マニュアルが8月に更新されました。火災訓練を年2回行っています。救急救命訓練・AED訓練、22年6名、23年1名参加。11月2日緊急時対応勉強会をしました。			
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災・災害マニュアルを更新しました。会社職員や地域の方に一時的に保護していただく場合が起こりうると考え避難口に名札(氏名・認知症、注意事項・連絡先)を準備しています。	緊急時の対応マニュアルを整備して、年2回の避難訓練の実施や救急救命訓練も定期的実施していると共に速やかに対応ができるように実践力を身につける取り組みをしている。		
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	私たちの職業はサービス業と自覚し利用者様を尊重し、守秘義務を守っています。	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉がないようにミーティングや各委員会で話し合い、職員間に周知している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の心の声が聴けるよう思いや希望が引き出せるよう働きかけています。自己決定できるように伺うようにしています。			
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	サークル活動やレクリエーション、余暇の過ごし方、御本人の意思に合わせて生活にメリハリがつくようお手伝いしています。			
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご家族と連携し整容のお手伝いをしています。床屋・美容院への外出やサングラスを使っての散髪など支援しています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好・病気・体調・咀嚼など一人ひとりに合わせて提供しています。衛生的に美味しく、彩り良く、季節感が出るように工夫し共に味わっています。利用者様は役割を楽しまれています。	管理栄養士の助言のもとメニューは作られ、摂取カロリーや栄養バランスを把握している。また、調理や食事の準備、後片付け等一緒に楽しんで行えるよう検討している。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリー制限、塩分制限、水分制限、脱水予防、便秘、貧血、など病気や咀嚼やADLに合わせた食事を提供し、主治医よりデータの確認をされ連携しながら支援しています。			
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝・晩の歯磨きや食後のうがいの徹底、義歯の洗浄、マウスウォッシュ口腔ケアなど一人ひとりに合わせて実施。歯科医との連携により往診治療を受けられます。			
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄サイクルを把握し間隔が長い時声かけ誘導や見守り、介助とトイレで排泄支援によりオムツからリハビリパンツ、失禁から自排尿、歩いてトイレに行く、始末をする、手洗いをするなど支援しています。	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、トイレで排泄できるように時間を見計らって自立へのを支援している。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事や飲み物、乳酸菌摂取の工夫や運動・体操や日課にメリハリを付け活性化するように取り組んでいます。			
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴のタイミングや湯加減、入浴剤の選択好みのシャンプーを相談したり、音楽を聴きながら・歌を唄いながら、髭を剃りながらなどお好みに合わせています。	一人ひとりの希望やタイミング、生活習慣に応じて支援している。また、拒否の強い利用者にも対応している。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝前に読書やテレビを楽しんだり、20時に飴を舂める、時にはノンアルコール・ビールを楽しむなど支援、自分らしく過ごし、妄想時はご家族になりかわり安心を促し支援しています。			
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診報告書確認・与薬マニュアルの徹底、与薬チェックシートを活用し誤薬の無いように支援しています。			
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみ、掃除、茶碗拭き、調理手伝いやサークル活動、レクリエーション、散歩、体操、行事、飲み物の選択など、宗教の協力、気分や思いに合わせて支援しています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご本人の希望に合わせ、ご家族と連携をとり外出したり送迎支援もします。また散歩がてら近所に買い物に行く時もあります。また宗教教会へ定期的に通い音弾いていた胡弓を奏でることが出来るようになった方もいらっしゃいます。	一人ひとりの希望にそって、散歩や買い物等戸外に出かけられるように支援している。また、家族と一緒にの外出の送迎支援や町内会のお祭り等への参加の支援が行われている。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的に、金銭は家族管理。事業所として預かり金を管理し必要に応じて個人個人の財布に入れ買い物をし管理するときがあります。出納帳コピー、領収書をご家族に送っています。			
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族と連携し、ご自分で電話をかけることが出来ないのに必要に応じて取り次いでいます。ぬり絵はがきを毎月季節に合わせてご本人のコメント名前を入れ送り好評です。			
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	安全で安心出来るなじみの共用空間であるよう清潔に整理整頓し季節の移り変わりが感じられるよう工夫しています。照明はすべて間接照明です。今年、壁紙を明るい色調に変えました。温度・湿度は1日4回チェックしています。なじみの人間関係を保ち居心地良く笑顔で生活出来る様支援しています。	共同生活で家庭の延長ができるような工夫がされ、リビングや廊下の壁には、利用者の手作りの季節毎の飾りつけが行われて本人が居心地良く過ごせるよう工夫している。また、利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	通常座席は指定していませんが皆様思い思いの場所があり、気のあった者同士会話をしたりTVを観たり出来る様見守りながら調整しています。			
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人が使っていた物、愛着のある物ご持参頂いています。仏壇(火のものは禁止)自由にお持ち頂いています。花や化粧道具・本など好みに合わせて使っています。茶碗・マグカップは使い慣れた物を使っています。	居室は、本人や家族と相談しながら、使い慣れた家具や寝具、仏壇や家族の写真等が持ち込まれ本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ADLに合わせ車椅子や歩行器の使用移動・移乗介助や が出来る可能性、何々を思い出す・知る可能性をご本人の希望に合わせて諦めずに支援します。			

目標達成計画

事業所名:グループホーム萌

作成日:平成 23年 12月 12日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	より良い人材を育成し、永く勤務できるようにする為に職員の養成に一段と重点を置く。	職員の養成に力を置く。	・教育・訓練の年間計画に基づいた実践 ・社内研修会(OJT、OFF-JT) ・介護実践マニュアルの浸透	12か月
2					
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。